稲作情報　第3号

令 和 7 年 5 月 2 日
射水市農業技術者協議会

1　活着後は、浅水管理で地温を高め、分げつの発生を促す

藻が発生している状況

① **3cm 程度の浅水管理**を行う。早朝に入水し、日中は止水にすることで地温を高める。
② 藻類が発生している圃場や、わいている圃場では、水の入れ替えや、１～２日程度の軽い田干しを行う。（前年、ひこばえが大きかった圃場等は、注意する）

2　中干しは、「田植後4週間」までに開始する

溝掘り

①田植後3週間目頃（5月下旬～6月上旬）から溝掘りを行う。
②溝は、15 条に１本を目安に掘り、水尻につなげる。
③中干しは、田植後４週間までに遅れずに実施する。

3　中期除草剤の散布

①雑草が発生した場合は雑草の種類や葉齢等に応じた薬剤を散布する。
②散布前には田の水量を適切に調整する。
③散布後５日間は湛水状態を維持し、散布後７日間は落水やかけ流しをしない。

○中期除草剤を散布する場合のスケジュール例

てんたかく

田植え 5/2 → 活着後は、浅水管理 → 水の入れ替え 5/21 → 中期除草剤散布 5/22（田植後 20 日） → 落水 5/29 溝掘り 5/30 → **中干し開始 5/30（田植後4週間）**

コシヒカリ

田植え 5/15 → 活着後は、浅水管理 → 水の入れ替え 6/3 → 中期除草剤散布 6/4（田植後 20 日） → 落水 6/11 溝掘り 6/12 → **中干し開始 6/12（田植後4週間）**

（中期除草剤の種類と適用雑草等は次ページ）

3/1～5/31　春の農作業安全運動　実施中

【お問い合わせ先】
JA いみず野営農指導課　TEL:52-6805　　高岡農林振興センター射水班　TEL:26-8478
JA いみず野ホームページ　http://www.ja-imizuno.or.jp

○中期除草剤の種類と適用雑草、使用方法等

農薬名	10a 当り散布量	散布時期	適用雑草名、注意事項等
テッケン 1キロ粒剤	1kg	移植後 15 日～（収穫 60 日前まで）	一年生雑草（ノビエ4葉期まで）、ホタルイ、ウリカワ等
テッケンジャンボ	50g×10 個		
レブラス 1キロ粒剤	1kg	移植後 15 日～（収穫 60 日前まで）	一年生雑草（ノビエ4葉期まで）、ホタルイ、ウリカワ等 （ホタルイ、クログワイが多い場合に使用）
ザーベックス DX 1キロ粒剤	1kg	移植後 20～30 日（イネ5葉期以降）	一年生雑草（ノビエ3葉期まで）、ホタルイ、ウリカワ等 **高温時（30℃以上）**や低温時（15℃以下）は使用しない。
ブイゴール SM 1キロ粒剤	1kg	移植後 20～30 日（イネ5葉期以降）	一年生雑草（ノビエ3．5葉期まで）、ホタルイ、ウリカワ、藻類による表層剥離等 **高温時（30℃以上）**や低温時（15℃以下）は使用しない。
ノックアウト楽粒	250g	移植後 7 日～（移植後 30 日まで）	一年生雑草（ノビエ3．5葉期まで）、多年生雑草、アオミドロ、藻類による表層剥離 （水口流し込み施用）

（「水稲注文書」の41ページもご覧ください）